

平成 23 年度 長生園デイサービスセンター 事業計画

事業の種類：通所介護（介護予防）

利用定員：30 名（日）：月延べ利用者約 400 名（内介護予防 40 名）

（実利用者約 40 名）

公的外サービス利用（1 回/2000 円）

ア. 介護報酬

通常規模型（所要時間 6 時間以上 8 時間未満）

例) 要介護 1：677 単位（回）

要支援 1：2226 単位（月）

加算（サービス提供体制強化・入浴介助・個別機能訓練・栄養マネジメント・口腔機能向上など）

イ. 利用料

介護報酬（上記ア.）の 1 割負担

食費（食材費・調理費）：390 円（1 食～おやつ込み）

ウ. 職員配置

生活相談員 1 看護職員 3 （兼・機能訓練指導員・生活相談員・介護職員）

介護職員 6 運転手 1

エ. 送迎車両

リフトワゴン車 2 台 軽自動車 3 台など（含・他職域との共用）

【基本方針】

利用者居宅での生活を継続していく為に、居宅介護支援事業所等とケアプランと連携しニーズにあった適切な通所介護計画（通所介護）あるいは介護予防通所介護計画を策定しサービスを提供する

また、周囲の環境等を有効的に活用し、他事業所との差別化を図り、利用者のサービス向上を図る

重点目標

- ① 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連携を密にし、新規利用者の円滑な受入及び利用者の個別ニーズに対する的確なサービス提供を図る。
- ② 園庭を利用した屋外（園芸等）活動の充実を図る。
- ③ 周囲の公園などを利用したレクリエーションプログラム・ボランティア団体等の受入・地域交流（昼食会）による地域交流を計画・実施を図る。
- ④ 利用者ニーズに適した、また 1 日を快適に過ごしていただけるような環境整備を行い、新規利用者の確保を図る。

【平成 23 年度 長生園デイサービスセンターの事業展開のポイント】

■利用者受入数（目標設定）

過去 3 年で一番実績の伸びた 21 年度を目標とし、月平均延べ利用者 400 名を下回らないように新規受入を確保したい。

■改修工事

利用者の便所、脱衣室及び浴室等の改修工事を行い、入浴時の安全な動線や、より利用しやすい設備環境等を整備することで、利用者ニーズ並びに新規利用者の受入れにつなげる。

■公的外サービス

限度額を超える利用者・介護認定を受けていない方など居宅介護支援事業所との連携によって受入を行い、個別のニーズに対応する。

（サービス内容は介護保険利用者に同じ。）

■地域交流会

地元の老人会・地域の民生委員との交流会を継続実施する。

※前年度では居宅介護支援事業所への案内を行うも、業務の都合等で不参加が多く、本年度は老人会・民生委員へは毎月、居宅介護支援事業所は半年に 1 回程度の案内とする。

■デイサービス便り

デイ便り作成配布も 2 年目となり、前年度からはホームページへの掲載も開始している。今後も継続して作成し、利用者及び地域への配布などを行い、広報活動を行う。

■レクリエーション

館内活動～運動・頭脳レクなど日々、変化をつけた内容にて実施

創作レク～運動等の活動が困難な方については、壁画・塗り絵など静的レクを提供（中長期的期間（1 ヶ月～）をかけて 1 つの作品を作成）

屋外活動～園芸・・・昨年に引き続き、野菜など季節に応じた作物を作る

利用者と共に植え付けや除草作業などを行う

園庭での昼食～天候の良い時は職員配置など安全に配慮し園庭での昼食を行う事で活動に変化を持たせる

散策行事～月 1 回のペースで散策行事等を計画（別紙）

※夏場・梅雨時期など気候に配慮し利用者への負担の少ない計画内容とする

■個別機能訓練

平行棒・サイクルマシンなど比較的簡易な器具を用いて訓練のメニューを追加し、バリエーションを増やすことで、個別のニーズを充実させる。

■送迎

送迎範囲は住吉方面～吉村町方面へ拡大しており同地域を今後も継続して対応
また、利用者都合による送迎時間の調整などは適時対応する。